

8 近世の都市デザイン ～バロックの都市大改造～

主題科目
都市デザイン史

1. (1)バロックの歴史的位置

- ルネサンスに続く時代、近代まで
- 17世紀初頭～18世紀中葉
- 王権制を土台
- 権力の誇示 ⇒ 壮大な建築・都市



ベルサイユ宮殿

1. (2)辞書的意味／美術的意味

- 歪(いびつ)な真珠
 <語源:ポルトガル語「バロココ」>
- 全ヨーロッパを風靡した芸術(建築・彫刻・音楽など)上および文学上の様式



カールス教会(ウィーン)
設計: F.v.エアラッハ, 1715

1. (3)特徴

- 流動的なリズム感、豪華絢爛
- 絵画的印象、劇的な明暗効果
- 凹凸の曲面、湾曲した輪郭線 → 不規則な形式



ウィーン新王宮
設計: G.ゼンバー, 1869

2. 壮大な都市造形

(1)背景

- 産業革命以後、特に19世紀後半頃
- バロック(貴族文化)から新古典主義(庶民文化)への移行に対する反動
- 都市の人口集中
 → 都市の近代化による諸問題の一掃
- 新しい権力者の台頭
 → 都市の美化による帝国威信の誇示



(2)源流

ローマ改造

- 1585-1590年
- シクストゥス5世
- ローマの再建
 → ミケランジェロ
 ブラマンテ
 - 多くの直線街路の整備
 (目的)信徒たちのローマ聖地の容易な巡礼
 - 要所要所のモニュメント



サンピエトロ大聖堂



ミケランジェロの計画案(1546年)

サンピエトロ大聖堂



楕円広場のコロネード:
遠くにあるものが生む奥行き
感の強調
⇒ 列柱を湾曲して配列

バロック庭園・例)ベルサイユ宮殿



- 1624年 ルイ13世の狩猟用別荘
- 1661年 ルイ14世の宮殿として整備
- 建築家L.ルヴォー、造園家A.ルノートル
- 1678年以降はJ.H.マンサール

多軸多焦点



大パースペクティブ

「ヴィスタ(眺望)」の概念
並木道(ブールヴァール)

軸の強調



焦点上のモニュメント



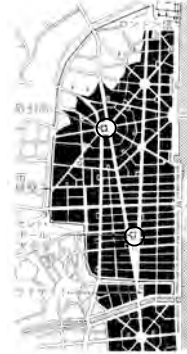
バロックの都市造形手法



- 多軸と多焦点:
- ・「大パースペクティブ」
＝「ヴィスタ(眺望)」の概念
 - ・並木道(ブルヴァール)
 - ・焦点上のモニュメント
- 絶対的支配者の論理的表現



レンのロンドン再建計画案(1666)



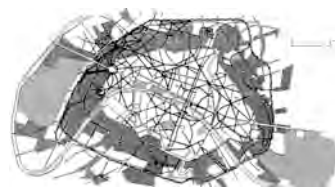
- ・クリストファー・レン
 - ・1666年ロンドン大火後
 - ・旧市街の再建計画案
 - ・ランドマーク
 - セントポール大聖堂
 - 証券取引所
 - ・放射状道路
- 実現せず

ランファンのワシントン計画(1792年)



- シャルル・ランファン
首都計画
- ・グリッド状の都市
 - ・対角線に走る道路
 - ・モール
 - ・オリベスクや彫刻をもつ広場
- 現在のワシントン

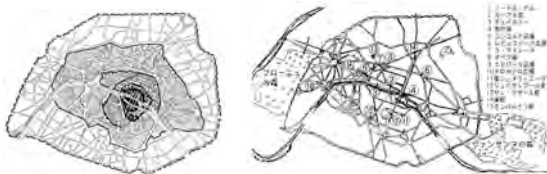
3. オースマンのパリ大改造(1853年)



- ナポレオン3世下
セーヌ県長官オースマン
・特別な地位(皇帝直属)
・精力的な仕事と決断力
- 「都市計画」の誕生

- (1)背景
- ・スラム一掃の社会的要求
 - ・交通網の再編
 - ・軍事上の要求(暴動の制圧)

(2)方法



- ・伝染病の巣である横町(スラム)の組織的な除去
- ・ブルヴァールによる公共交通の確保
- ・暴動制圧しやすいような建築や邸宅、兵舎の配置

(3)計画

- ・東西の交通路リヴォリ通りの拡張
- ・兵舎の建設(市庁舎の周辺の空き地化)
- ・ブローニュノ森の改造
 - 市民のレクリエーション
- ・ロンシャン競馬場の建設
- ・放射状道路の建設

パリ凱旋門



- ・ ナポレオン1世
- ・ 1806～36年
- ・ フランス軍隊の栄光を讃えるために計画
- ・ 設計: J.F.シャルグラン
- ・ 古代ローマの凱旋門を模して建造
- ・ 特色: 巨大さ (高さ50m、幅45m)
- ・ 新古典主義建築の代表作

(4) 特徴

- ・ 城壁内の再開発(ブールヴァールの建設)
- ・ 土地の取用

(5) 結果

- ・ 表だけの美しさ
- ・ 都市内の大量輸送機関の欠如
- ・ 地代の高騰と人民の貧困の進行
- ・ 自然の木々の消失



シャンゼリゼ通り

4. ウィーン大改造(1857-1911年)

フランツ・ヨーゼフ1世



リンク道路

(1) 背景

- ・ ナポレオン軍の侵攻による市壁の破壊
- ・ 市街地の拡張の必要性 (人口増加)
- ・ スラム化解消の必要性
- ・ 帝都の美化に対する皇帝の熱望
- ・ 旧市街地と郊外地の結合に対する要望

改造前後の比較

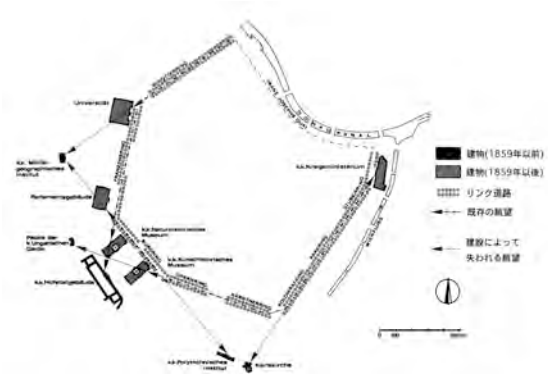


(2) 方法

- ・ 土地の売却
- ・ 都市計画の公開設計競技
- ・ 公共建築物の公開設計競技

<要綱> できる限り相互に離して建てること。
ブールヴァールが広場に面すること。

都市改造後の眺望



(3) 計画

- ・ リンク道路、外郭環状道路、放射状道路の整備
- ・ 住宅地区の開発
- ・ 鉄道網の整備(路面電車、都市鉄道)
- ・ 上水道・下水道、目的別水路の建設
- ・ ドナウ川治水工事 など

リンク道路



様々な建築様式の公共建築物



鉄道・運河などの整備



(4) 特徴

- 総合芸術 (Gesamtkunst) の思想
- 民主的な都市改造 (公開設計競技など)
- 民間人 (商人) の貴族階級への昇格・勲章

(5) 結果

- 身分階級の崩壊
- 地価・家賃の高騰
- 非政治的・反政治的な建築様式・思想の台頭
ユーゲント・シュテュール
ゼツェッション (分離派) など

まとめ(バロックの都市大改造)

◆ 中世都市からの脱却

- 絶対的権力者の手段 = バロック
 - 帝都の美化
 - 近代化による都市的問題の一掃

- 手法: 多軸多焦点

- 大パースペクティブ = ヴィスタ (眺望)
- 並木道 (ブールヴァール)

◆ パリとウィーン

- パリ: 土地収用、表面だけの美化、地価の高騰
- ウィーン: 総合芸術、公開設計競技、身分階級の崩壊
 - 多くの都市における近代化の規範
 - 用語「都市計画」の誕生